

農林水産省登録 第 4407 号
 性状：淡緑色水和性粉末
 毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)
 有効年限：5 年
 包装：500g × 20

サンケイ園芸ボルドー

有効成分：硫黄・・・・・・25.0%
 塩基性塩化銅（銅として 35.0%）・・・61.0%

特長

○本剤は無機銅と硫黄を主剤とした製剤で、無機銅は広範囲の病害に対し予防散布することで高い保護作用があります。また、硫黄はうどんこ病などに強い殺菌効果を示します。

適用病害虫名および使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10アール 当り使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	硫黄を含む 農薬の 総使用回数	銅を含む 農薬の 総使用回数					
うり類	べと病 炭疽病 うどんこ病	400～800倍	100～ 300ℓ				—	—					
かぼちゃ	果実斑点細菌病	500倍											
ぺぼかぼちゃ (種子)	べと病 炭疽病 うどんこ病	400～800倍											
きゅうり	斑点細菌病 褐斑病	500倍											
トマト ミニトマト	疫病	400～800倍											
	うどんこ病	800倍											
	葉かび病 すすかび病 トマトサビダニ	500倍											
豆類(種実) 豆類(未成熟)	さび病	400～800倍							200～ 700ℓ			—	—
ばれいしょ	疫病 夏疫病	400～800倍											
いちご	うどんこ病	800倍											
てんさい	褐斑病												
かんきつ	ミカンサビダニ チャノホコリダニ	500倍											
	そうか病 かいよう病 黒点病	400～800倍											
なし	黒斑病	500倍											
ぶどう	褐斑病 晚腐病												
	黒とう病 つる割細菌病 さび病												
	べと病 うどんこ病	800倍											

使用上の注意事項

- 高温時のうり類に対する使用は、薬害のおそれがあるので避けてください。
- 広範囲の殺虫剤、殺菌剤と混用できますが、石灰硫黄合剤などの強アルカリ薬剤との混用は避けてください。
- かんきつに使用する際は、薬害(スタメラノーズ)の発生するおそれがあるので、炭酸カルシウム水和剤を加用してください。特に果実の着生時期の散布と雑柑への散布は厳守してください。
- 本剤は蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。

- いちご及びぶどうに使用する場合、連用散布により葉に薬害が生じるおそれがあるので、注意してください。また、果実に汚れが残るおそれがあるので、着果期以降の散布は注意してください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において、事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- 散布液調製後はそのまま放置せず、できるだけ速やかに散布してください。
- マシン油乳剤との混用は避けてください。
- 夏場高温時の散布は、薬害症状が激しくなることがあるので避けて下さい。
- 散布直後降雨などがある場合、温度の上昇により薬害が発生しやすいので注意してください。
- そらまめ、未成熟そらまめへの使用は薬害を生じるおそれがあるので避けてください。
- なしに使用する際は、若葉の頃の散布は薬害を生じるおそれがあるので、有袋栽培の大袋掛以降新梢の伸びが停止してから散布してください。また二十世紀以外の品種では果実着生時の散布は薬害を生じるおそれがあるので避けてください。
- 新梢、葉に対する薬害軽減のため、銅に弱い品種や薬害の出やすい時期に使用する場合は、必ず炭酸カルシウム水和剤を加用してください。
- 幼苗期の散布、または過度の連用は薬害を生じるおそれがあるのでさけてください。
- 果実に汚れが生じるおそれがあるので、留意してください。

安全使用上の注意事項

- 誤飲、誤食などのないように注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- 粉末は眼に対して強い刺激性があるので、散布調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 散布の際は防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。

水産動植物に係る注意事項

- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

園芸ボルドー技術情報

園芸ボルドーの上手な使い方

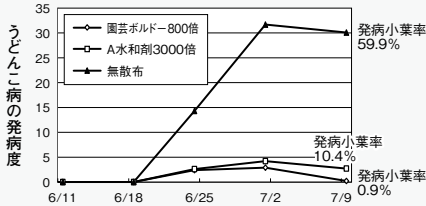


- 希釈した薬液を噴霧器で**ムラなく散布**してください。
- 予防的な効果を発揮するので、**発病前もしくは発病初期から散布**してください。
- 使用回数・使用時期に制限はありませんが、**過度の連用散布は避けて**ください。
- 果実の汚れが心配な時は展着剤を加用してください。

園芸ボルドーの薬効試験成績 (いちご)

うどんこ病 (いちご) に関する試験成績

いちご(あまおう)のうどんこ病防除



試験場所: 福岡農業総合試験場

作物名(品種): いちご親株(あまおう)1区25株、3反復
 薬剤散布日: 6/11、18、24、7/1の計4回散布(平成20年)
 調査方法: 各区全株について、上位展開葉3複葉の発病小葉率および発病度を算出。小葉に土の薬害。黒色のしみ。

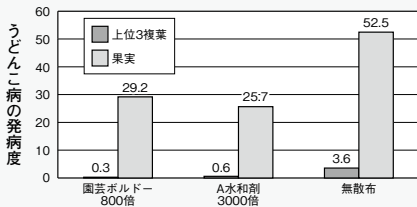
【発病度の算出方法】

$$\text{発病度} = \sum (\text{程度別発病株数} \times \text{指数}) / (\text{調査株数} \times 4)$$

【指数】

- 0: 発病なし
- 1: 病斑面積率が10%未満
- 2: 病斑面積率が10%以上25%未満
- 3: 病斑面積率が25%以上50%未満
- 4: 病斑面積率が50%以上

いちご(草姫)のうどんこ病防除



試験場所: 岐阜植物防疫協会

作物名(品種): いちご(草姫)1区50株、3反復
 薬剤散布日: 3/13、19、27、4/4、11、17の6回散布。
 調査は5/1。(平成21年)

調査方法: 上位葉について各区70~100葉の発病状況の調査。薬害はなし。

【発病度の算出方法】

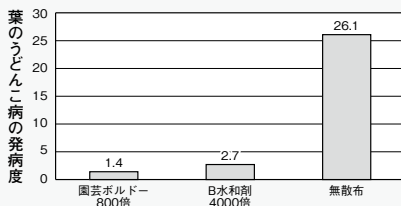
$$\text{発病度} = \sum (\text{程度別発病数} \times \text{指数}) / 100 / (\text{調査数} \times 4)$$

【発病指数(果実)、(上位3複葉)】

- 0: 病斑をみとめない
- 1: 病斑面積率が25%未満
- 2: 病斑面積率が25%以上50%未満
- 3: 病斑面積率が50%以上75%未満
- 4: 病斑面積率が75%以上

葉のうどんこ病 (いちご) に関する試験成績

いちご(とよのか)の葉のうどんこ病防除



試験場所: 奈良植物防疫協会

作物名(品種): いちご(とよのか)1区10株 3連制
 薬剤散布・調査日: 5/4、12、19の3回散布。
 調査は5/26。(平成21年)

調査方法: 各区の展開した第1葉~第4葉の100葉の発病状況を調査。葉果実に汚れる。

【発病度の算出方法】

$$\text{発病度} = \sum (\text{程度別発病葉数} \times \text{指数}) \times 100 / (\text{調査葉数} \times 4)$$

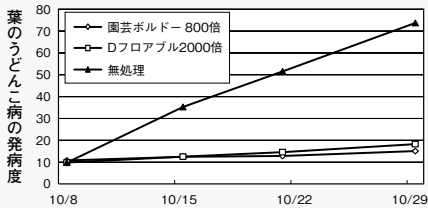
【指数】

- 0: 発病なし
- 1: 病斑面積率が葉の5%未満
- 2: 病斑面積率が葉の5%以上25%未満
- 3: 病斑面積率が葉の25%以上50%未満
- 4: 病斑面積率が葉の50%以上

園芸ポルドーの薬効試験成績 (トマト)

葉のうどんこ病 (トマト) に関する試験成績

トマト(麗容)の葉のうどんこ病防除



試験場所: 熊本県農業研究センター

作物名 (品種): トマト(麗容) 1区6~8株 3反復

薬剤散布日: 10/8、15、21の3回散布。(平成22年)

調査方法: 初回調査時に定めた下葉から上位20葉を調査。
9/24にうどんこ病に感染した苗を置く。
被害はなし。

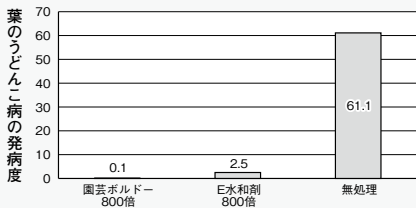
【発病度の算出方法】

発病度 = Σ (程度別発病葉数 × 指数) × 100 / (調査葉数 × 4)

【指数】

- 0: 病斑を認めない
- 1: 1/3 未満の小葉に病斑
- 2: 1/3 以上 2/3 未満の小葉に病斑
- 3: 2/3 以上の小葉に病斑
- 4: 全小葉に病斑

トマト(桃太郎ヨーク)の葉のうどんこ病防除



試験場所: 愛知県農業総合試験場

作物名 (品種): トマト(桃太郎ヨーク) 1区10株 3連制

薬剤散布日: 5/19、26、6/2の3回散布。(平成23年)

調査方法: 本葉約10枚について発病を調査。

5/19にうどんこ病に感染した苗を置く。
6/9調査。

【発病度の算出方法】

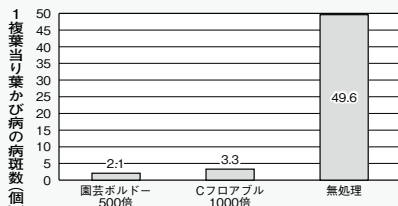
発病度 = Σ (指数 × 発病程度別葉数) × 100 / (調査葉数 × 4)

【指数】

- 0: 病斑を認めない
- 1: 1/3 未満の小葉に病斑
- 2: 1/3 以上 2/3 未満の小葉に病斑
- 3: 2/3 以上の小葉に病斑
- 4: 全小葉に病斑

葉かび病 (トマト) に関する試験成績

トマトの葉かび病防除



試験場所: 日本植物防疫協会研究所

作物名 (品種): トマト(大型福寿) 1区12株 3連制

薬剤処理日: 6/1、8、16、23、30の5回散布。

5/24に接種。(平成22年)

調査方法: 7/7第2果房から上位8葉の80葉を調査。
甚発生。被害はなし。